

鍋谷 暁

希望

被災時の温泉施設の無料開放

問 7月大雨の際に五城目町や八峰町等が温泉施設を無料開放していた。災害によって浸水や断水が発生した際に、被災者や災害ボランティアを対象に温泉施設を無料開放する考えは。

答 悪土川流域住民との意見交換会において、住宅の浸水被害により、自宅の風呂に入れない状況があり、当市でも温泉施設を無料で開放するなど、被災者に寄り添った対応ができないかとの要望も頂いている。今後、温泉施設関係者に対し、災害時に温泉施設の無料開放の対応が可能なのか、その場合の条件等を確認し、実施に向け準備を進める。

市民プラザ事業の交流機能の再構築

問 市民プラザ事業について令和6年度末で廃止する方針が示されているが、これまでの事業の内容を精査し、予算規模を縮小した上で類似の交流拠点事業を新事業として行う考えは。

答 中心市街地活性化には交流機能が重要と考えるが、限られた財源を効果的に活用するため、民間とも連携するなどして、再構築を検討することとしている。検討に当たっては、市民プラザや畠町新拠点の利用者の声、市の財政状況等を踏まえて進めていくが、その中で予算規模を縮小して交流拠点の新事業を実施することもあり得る。

その他の質問事項

- 台湾チャーター便再開とインバウンド対応
- マフソンを活用したインバウンド誘客
- 洋上風力発電設備の視察と観光振興

針金 勝彦

平政・公明党

令和6年度当初予算編成の基本方針

問 令和6年度当初予算ではスリムな予算を目指す一方で、市民の役に立つ予算となるよう指示しているが、現在置かれている状況の中で当初予算編成の基本方針についてどのように考えているか。

答 当初予算編成方針では、新たな事業等は終期を設定して実施すること、一般予算は前年度一般財源ベース比97%以内で見積もること等を指示している。また、3つの重点事項を展開するほか、市民生活や社会情勢が変化している中で、地域課題に対して迅速かつ的確に対応するとともに、市民や民間主体の活動を後押しし、市民の役に立つ予算にしていこう。

しのめ号の運行区域も含めた実証実験延長

問 A1オンデマンド交通、まちなかコサクルの本格運行につなげるために、はまなす号に続きしのめ号の運行区域まで含めて実証実験の期間の延長が必要と考える。市の考えは。

答 本実証実験は2か月間運行し、システム上に蓄積されたデータの分析や利用者へのアンケート調査等を行うこととしている。その結果を踏まえた上で、運行事業者やシステム事業者、関係機関との調整を図りながら、運行区域拡大を含めた、さらなる実証実験や本格導入の可否等を検討する必要があるため12月31日で終了する。

その他の質問事項

- 令和6年度以降の将来の財政見通しは
- まちなかコサクルの周知及び利用状況は
- コサクルとの接続を考慮した運行区域拡大は

小野 立

市民ネットフォーラム
(市民の声、大河の会、能代民政会)

市民プラザの廃止方針は見直すべきでは

問 市民プラザ廃止方針の唐突な発表に反対、困惑、疑問の声が聞かれる。マルヒコビルディングや畠町新拠点で代替したいとしているが、それぞれの施設の特性などから無理がある。見直すべきでは。

答 近年の中心市街地での民間の活発な動きや先日の中心市街地活性化推進協議会での意見を踏まえ、限られた財源を効果的に活用するため、民間とも連携するなどして、市民プラザや畠町新拠点等が持っている交流機能の再構築について検討していく。今後、利用者の声や、市議会からの意見、市の財政状況等を踏まえながら、慎重に進める。

ふるさと納税によるシティープロモーション

問 市が返礼品を送ることに極めて否定的だった当時から、返礼品を活用した市内の産品へのリピートづくりを訴えてきた。その後の方針転換は評価するが、商品開発の部分に課題もある。今後の方針は。

答 10月から、市のさらなるPRや地元事業者への経済波及等を目的に、ポータルサイトの運営やネット広告等に高い専門性とノウハウを持つ会社へ業務全般を委託している。同社の提案等を生かした取組を通じ、さらなる寄附額の増加はもとより、本市の認知度向上やイメージアップを図り、地元事業者への経済波及等、地域活性化につなげてまいりたい。

その他の質問事項

- 悪土川の治水対策に対する市のビジョンは
- 伐採後の熊対策を見据えた再造林の必要は
- 能代市グラウンド・ゴルフ場改善の検討状況は